



就任のあいさつ

福島県中学校長会長 福地 裕之
(福島市立福島第四中学校長)

令和5年度福島県中学校長会長を拝命いたしました福島市立福島第四中学校の福地裕之です。どうぞよろしくお願いいたします。

はじめに、本年3月末をもってご勇退されました渡部光毅前会長をはじめ、校長先生方のご功績に敬意を表しますとともに、長年にわたるご指導に対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、4月下旬、関東方面に修学旅行に行ってきました。1日目の夜、子どもたちと一緒にライオンキングを鑑賞してきました。印象に残ったのは、擬人化されたキャラクターたちの苦悩や成長の描写でした。呪術師ラフィキの言葉「過去は病むものだが、そこから逃げ出すこともできる。しかし、学ぶこともできる。」主人公シンバはこの言葉を聞き、自分のやるべきことを考え、立ち上がり、行動します。私たちの人生、全てがうまくいくことなどありません。しかし、まわりには自分を信頼してくれる人もいれば、助けてくれる人もいます。自分がやるべきことを考え、精一杯やること自体が大事なのではないのでしょうか。

私の校長としてのモットーは、「あ た まを大切に」（「あ」：明るく、「た」：楽しく、「ま」：前向きに）です。あたまを良くしなさいと言っているわけではありません。事あるごとに子どもたち、先生方、保護者に話をしています。人は幸せなことにも出会うでしょうし、困難なことにも出会います。その時に逃げ出すのか、前向きに挑戦し、学んでいくのか、まさに人生です。

世の中は、社会情勢の変化やグローバル化の進展、さらには人工知能（AI）の進化など、絶え間ない技術革新のなかにあります。一人一人が持続可能な社会の担い手となるためには、人間尊重の精神を基盤としながら、困難に直面してもたく

ましく臨機応変に行動できる「社会を生き抜く力」と「よりよい社会を形成する力」の育成を目指して、学校経営の充実に努めなくてはなりません。「学校は、復興・創生のシンボルであり、復興・創生の活力源である」こと、そして、「学校は、命と健康が輝く場所である」ことをもう一度肝に銘じ、学校経営の最高責任者としてのリーダーシップを発揮しながら、地域の特質を踏まえた活力に満ちた学校経営に努め、県民の負託に応えていきたいと考えています。

福島県中学校長会の活動方針ですが、

- 1 組織と機能を充実し、本会の目的である「中学校教育の振興を図り、本県教育の発展に寄与すること」の達成に努める。
- 2 校長の学校経営力の向上を図るとともに、十分な情報交換を通して、様々な教育課題の解決に努める。
- 3 各校種及び教育委員会並びに関係諸機関との連携を密にし、諸課題への適切な対応に努める。

をもとに各専門部会を中心に年間の年間活動にそって事業を推進していきます。

今年度は、第73回東北地区中学校長会研究協議会・福島大会が会津若松市を会場として、現地参加とWeb参加のハイブリッド型による開催となりました。本大会は本県中学校教育の充実・発展に寄与する重要な協議会であり、会の準備や運営を担当された北会津支会をはじめ、会津地区の各支会には心より感謝申し上げます。

終わりになりますが、福島を共に創り、つなぐ、福島ならではの教育の充実に向けて、会員の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。就任のあいさつといたします。